

トラック 6

(ドア越しに)

お姉ちゃん。まだ着替え終わりませんかー？

(♪ドア開閉音)

おわ、…って、お姉ちゃん、浴衣…？

え、びっくりした…普通に着替えてると思ったから…。

ううん、すごく、綺麗です。 色もかわいいし、似合ってる。
なんか、いつもより大人っぽく見えますね…って言ってもお姉ちゃん大人ですけど。
すごい色っぽくて、素敵ですよ。

あ、お姉ちゃん。 髪留め取れそうになってますよ。 直します。

(キス一回)

あはは、すみません、つい。
首筋が無防備だったので。

はい、直せました。
可愛いですよ。

…あ、あの、お姉ちゃん。

手、繋ぎたい、かも。

あ、えと、「かも」じゃなくて、

…繋ぎたいです。

（ヒロイン、涼の手を取る）

…ふふ。

手ちっちゃい。

じゃあ、行きましょう。

<場面転換>

（↓以降下駄と砂利）

うん。 もう夏休みです。

今日は図書館で提出物進めてました。

あとは数学のプリントやるだけです。

…偉い、かな？

…ふふ。 ありがとうございます。

…ずっと、この日だけを楽しみにしてました。

行きたくない学校も頑張れたし、

やなことあっても耐えられたんです。

お姉ちゃんのおかげです。

お姉ちゃん、今日本当はお仕事だったのに、わざわざ休み取ってくれたんですよね？

…そういうの、本当に嬉しいです。

ありがとうございました。

…ねえ。

おめかししてきてくれたのって、俺のためだったりしますか？

…あっ いや、何でもないです。
忘れてください。

そういえば、花火いつからでしたっけ。
…8時半。じゃあそれまで屋台周りましょうか。
って言っても、またご馳走してもらうことになっちゃうんですけど…。
今月の手持ち、全部取られてしまっって。

…申し訳ないです。今更ですけど…。

（「気にしないで」）

…ありがとうございます。お姉ちゃん。

わあ、今の屋台ってこんな感じなんですね。あ、今流行りのタピオカ。
ん？ チーズドッグもある！ へー…、あ、電球ソーダだ…！
ちょっと見てもいいですか？

綺麗ですね…この色好きだなあ…。
お姉ちゃん、これ欲しいです。

やったあ。ありがとうございます。

わーっ…って、俺高校生でこんな、はしゃぎ過ぎですよね…。

（素直でいいと思うよ）

…！

うん。じゃあ、素直でいます。ふふ。

…ずっとこういうことしたかったんです。

子供の頃はよく、祖母が近所のお祭りに連れて行ってくれたんですけど、

両親が仲悪くなってからはずっと行けてなかったの。

今すごく楽しいです。 幸せ。

…お姉ちゃんが、本当にお姉ちゃんだったら良かったのになって最近よく思います。

お姉ちゃんの弟さんが羨ましいです。

…あ、お姉ちゃんも一緒に飲みませんか？ はい。

ん？ そうですね、関節キスですね。

…ふふ。あーんして。

…あ、あの、上目遣いでこっち見るのやめてくれませんか？
結構刺さります、それは。

だ、か、ら。

…可愛いから。

やめて。

つ、ツンデレなんかじゃないですけど…！

…もう。 この間から俺変なんです。

あなたが甘やかすから…。

ほ、ほら、あっちにも美味しそうなのありますよ！　行きましょ
う！

（ヒロインの手を引いて、照れ隠ししながら）
…ほんとに、色々あなたのせいだ。
もう前みたいにできないじゃないですか。

おわ…っ　どうしたんですか。

…同級生？　ああ、いいですよ。

（↓砂利下駄）

☆（赤文字部分は他の方に依頼予定です）

いらっしゃーい！…って、あれ、うわ、久しぶり！　元気して
た？

誰かわかんなかったわ、めっちゃ綺麗になってたから。

はあ。　しかし寂しいわあ。お前まで彼氏作ってくるとは…。

あ、親戚の子？　何だよ～、俺あいつに報告しようかと思っちゃ
ったよ。

えーほら、いたじゃん、お前が高2の時に仲良くしてた陸部のエ
ース。

てか付き合ってたんじゃないん？

マジ？　あいつお前のこと未だに好きみたいだけど。連絡したげ
れば？

え、お前好きな人いるんだ。　なーんだ、じゃあ玉砕決定じゃん
笑

そういえばさ、高校の時、進路指導のおじさん先生いたじゃん。
そう吉田。
あいつ捕まったの知ってる？

うん。他校の女子生徒と援助交際だって。
いや、ガチガチ。この前ニュースに出てたもん。

いやー俺もびっくりした。　まあなんかいつかやりそうな顔はしてたけどな。

でもさあ、だいぶやばくね？
金欲しさでおっさんとやれるJKもやばいけどさ、
金払ってまで未成年と関係持ちたいって思うのもなかなかやばいよなー。

…ん？　どした？
ああ、そうだ、連れが現役高校生だったな、悪りい。
これサービスでやるからさ、今のはチャラにして。
んじゃ、またどっかで見かけたら声かけるわ。うん。またな。気をつけて。

(歩きながら)
(↓砂利と下駄)

…今の人、仲よかったんですか？

へえ、小学校から…。
良かったですね、会えて。

お姉ちゃん、異性の友達多そう。

ううん、いいことだと思いますよ。

…いいな。俺も中学の頃に戻りたい。

(♪砂利と下駄)

…俺、彼氏に見えるんですね。

じゃあ俺たちが、やばい関係で繋がってるとは誰も思わないんでしょうね。

(♪花火の音)

あ、花火始まった。

…綺麗ですね…。

…変なの。

汚い関係で繋がってるのに、今、二人で綺麗なもの一緒に見てる。

ほんとのこと知ったら、世界は俺たちのことどう思うんだろう。

…お姉ちゃんは、俺のこと、どう思ってるんだろう。

…って、最近よく考えてしまいます。

途中から間違えてたのは俺でした。

…いや、最初から間違っていました。

俺はお姉ちゃんのこと、もう他人とは思えなくなっていました。

お祭り…終わらないで欲しいなあ…。

…今の全部独り言なんですけど、全部聞こえてますよね。
聞かなかったふりしてくれるのは、都合のいい人だけですよ。

お姉ちゃん、…帰りたくない、です…。